

資料4 教室や家庭でのいじめのサイン

1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン
<ul style="list-style-type: none">○ 嫌なあだ名が聞こえる。○ 何か起こると特定の児童の名前が出る。○ 筆記用具等の貸し借りが多い。○ 壁等にいたずら、落書きがある。○ 机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

サイン
<ul style="list-style-type: none">○ 学校や友人のことを話さなくなる。○ 友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。○ 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。○ 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。○ 遊ぶ友達が急に変わる。○ 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
<ul style="list-style-type: none">○ 理由のはっきりしない衣服の汚れがある。○ 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。○ 登校時刻になると体調不良を訴える。○ 食欲不振・不眠を訴える。持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。
<ul style="list-style-type: none">○ 学習時間が減る。成績が下がる。○ 家庭の品物、金銭がなくなる。大きな額の金銭を欲しがる。